

理科の目標

自然の事物現象に対して興味や関心を持ち、実験・観察を通じて科学的な考え方・問題解決能力をもつ生徒を育てる

評価の観点・方法

【関心・意欲・態度】25%

・学習内容に興味・関心を持って取り組み、学習内容を身近なものに関連付け、生活に役立てようとしているか。

・課題に対して問題意識を持ち、安全かつ積極的に取り組んでいるか。

→授業態度、レポート、宿題など

【科学的な思考・表現】

25%

・実験、観察の結果を見やすく整理したり、まとめたり、グラフ化したりすることができているか。

・実験結果からわかることを考察し、科学的に文章でまとめたり、規則性を見つげたりすることができているか。

→レポート、定期テストなど

【実験・観察の技能】25%

・実験器具の特徴や性質を理解したうえで、安全かつ正しい方法で扱うことができるか。

→パフォーマンステスト、定期テスト

【知識・理解】25%

学習した自然の事物・現象に関して理解し、知識として身に付けられているか。

→定期テスト、単元末テストなど

月	学習すること	学習のねらい
4	1. 植物の世界 ○身近な生物を観察しよう	・校庭や学校周辺の生物の観察を行い、生物に対する興味・関心を高める。
5	○花のつくりとはたらき	・いろいろな花のつくりの観察を行い、めしべ、おしべ、花弁、がく、といった、花のつくりの基本的な特徴を理解する。
6	○葉、茎、根のつくりとはたらき ○植物の分類	・いろいろな植物の葉、茎、根のつくりの観察を行い、葉、茎、根のつくりの基本的な特徴を理解する。 ・花や葉、茎、根の観察の記録にもとづいて、それらを相互に比較し関連づけて考察し、植物がからだのつくりの特徴にもとづいて分類する。
7	2. 身のまわりの物質 ○身のまわりの物質とその性質	・気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を見いださせるとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。
9	○気体の性質	・物質が水にとけるようすの観察を行い、水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見だし、その現象を粒子のモデルで説明できるようにする。 ・状態変化を、粒子のモデルで説明できるようにする。
10	○水溶液の性質	
11	○物質の姿と状態変化 3. 身のまわりの現象 ○光の世界	・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさの関係を見いだす。 ・音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを見だし理解する。
12	○音の世界	力は大きさと向きによって表されることを理解する。また、圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだす。
1	○いろいろな力の世界	
1	4. 大地の変化(21+1) ○火をふく大地	・火山の形、火山噴出物の形状、火成岩の組織のちがいを、マグマの性質や成因と関連づけて説明できるようにする。 ・震や地震にともなう大地の変化が起こるしくみが、地球内部の活動（地球内部のエネルギーとプレートの動き）に関連していることを理解する。
2	○動き続ける大地	
3	○大地の変化を読みとる	・堆積岩や化石の観察をもとに、過去の環境を推定するとともに、観察した事物を用いて論理的に思考する方法を身につける。 ・物質には密度や電気の通りやすさ、加熱したときの変化など、固有の性質と共通の性質があることを理解する。